

# 防犯しゃくなげ

発行  
 公益社団法人福島県防犯協会連合会  
 福島市山下町5番28号  
 ☎024-535-8499  
 〆024-534-7070  
<http://www.bouhanfukushima.com>  
 印刷 (株)民報印刷

## みんなで作ろう安心の街

**まも**  
**こ**  
**キケンから子どもを守る**  
**やくそく**  
**5つの約束をしよう**

- ① 知らない人にはついて行かない
- ② ひとりにならない
- ③ 遊ぶのは「だれと・どこで・何時まで」を言ってから
- ④ 「こわい!」と思ったら大声で助けをよぼう!
- ⑤ 車が近づいてきたら、はなれよう!



新学期も間もなくですが、子供の連れ去りなど、重大な犯罪被害につながる「不審者からの声掛け事案」が増加しています。被害の多い登下校時間帯に合わせて、防犯ボランティア等による「子ども見守り活動」を継続することが大切です。

**すすめよう**  
**子ども見守り活動を**

**ふしんしゃ** **ことばたくみ** **こえ**  
**不審者は、ウソをついて言葉巧みに声かけします。**  
**ゼッタイについていかないようにしましょう。**

**ふしんしゃ** **こえ** **こたえ**  
**不審者からの声かけ→こう答えよう!**

- ・道を教えてくれない? → 大人の人か、おまわりさんに聞いてください
- ・落とし物をさがして! → いりません!
- ・おかし(お金)をあげるよ → イヤです!
- ・ゲームをやるよ → 知らない人は信じません!
- ・うちの人が事故にあった! → 知らない人は信じません!
- ・うちの火事だ! すぐ来て!

**プラス防犯のすすめ**

プラス防犯は、日常生活の中で子どもの登下校時間帯に合わせて児童を見守る活動です。たとえば、

- 玄関先の草花の手入れ
- パトロールを兼ねたジヨギングやウォーキング
- 犬の散歩を兼ねたパトロールなどで「地域の目」を光らせましょう。

## 平成28年の刑法犯認知件数、戦後最少を更新

**平成28年中 11,575件 (前年対比-1,216件)**

**刑法犯認知件数の推移 (福島県)**

平成	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28年
認知件数	36,018	35,561	29,137	24,529	22,395	19,855	19,582	19,527	19,427	16,179	14,616	14,596	14,316	12,791	11,575

● 平成14年をピークに平成15年から14年連続の減少  
 ● 戦後最少の刑法犯認知件数を更新

昨年中(平成28年)の刑法犯認知件数は、前年比1,216件(9.5%)減の1万1,575件でした。平成14年の3万6,018件をピークに14年連続の減少で戦後最少を更新しました。罪種別では、約7割(70.8%)を窃盗犯が占め、前年比9.2%減の8,197件でした。しかし、詐欺等の知能犯や強盗事件、小中学生等への声掛け事案やサイバー犯罪等、増加している事案も多く見受けられます。また、県内のなりすまし詐欺については、引き続き重大な被害をもたらしており、県警では今年も厳重な警戒を呼びかけています。



# 安全・安心なまちづくり



## 地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介

### 浅川町防犯協会 (浅川町)

浅川町防犯協会は、「犯罪のない明るい社会」を目的に昭和51年に設立し、町内全戸が加入しています。毎月2回の駅を中心とした防犯活動を始め、毎年8月16日に行う県内最古の歴史を持つ『浅川の花火』では、防犯パトロールや青少年への街頭指導を行う等、町民が一体となり安心・安全確保、青少年育成に努めています。



### 猪苗代地区防犯協会連合会猪苗代支部 (猪苗代町)

猪苗代支部は結成後、本年で62年目を迎えています。猪苗代町は県内有数の観光地であり、春夏秋冬を問わず多くの観光客が訪れています。同支部は笹岡正人支部長の下、これら観光客に対する各種被害防止対策にも積極的に活動しており、毎年、寒風の中、スキー場におけるスキー・スノーボード盗難被害防止広報を実施しています。

### 常磐防犯協会 (いわき市)

常磐防犯協会は、昭和45年に結成され、現在は寺田博明会長以下約50名の会員がおり、自転車盗難被害防止を呼びかけるツーロック運動、年金支給日におけるなりすまし詐欺被害防止活動、少年非行防止・少年の健全育成を目的としたジュブナイル活動等を積極的に推進して、地区の安全確保のため昼夜活動をしております。



### 平成29年全国地域安全運動 ポスター・標語・青パト写真を募集

平成29年における全国地域安全運動は、10月11日(水)から20日(金)までの10日間行われる予定です。この運動に向けて、今年も地域安全ポスターと標語及び青パト写真の募集を行います。優秀な作品につきましては、県内の地域安全活動の広報資料として活用されるとともに、全国防犯協会連合会が主催する全国審査の応募作として出品いたします。募集テーマ(課題)等の詳細は、募集チラシ又は公益社団法人福島県防犯協会連合会のホームページをご覧ください。

警察署・地区防犯協会への  
応募メ切りは5月23日(火)です。

**ご用心 急増! 還付金詐欺**

えっ還付金が戻ってくるの? **だまされています!**

「ATMに着いたら電話して」は詐欺!

ATMを操作しても還付金を受け取る機能はありません

そのほか、架空請求詐欺(名義貸し詐欺など)等で高額な被害が頻発しています。  
不審電話があったら、すぐに警察や家族に相談を!(警察安全相談は#9110)

平成28年中のなりすまし詐欺被害認知状況

福島県内	平成28年		前年対比	
	件数	被害金額	件数	被害金額
なりすまし詐欺 (総数)	101	30,831万円	-62	-14,970万円
オレオレ詐欺	35	11,136万円	-56	-11,253万円
架空請求詐欺	28	14,239万円	-20	-3,684万円
融資保証金詐欺	6	542万円	+2	-299万円
還付金等詐欺	28	2,265万円	+18	+717万円
その他の詐欺	4	2,649万円	-6	-451万円



## 平成28年地域安全作文 中学生の部 最優秀作品

### 私の町は安全安心

川俣町立山木屋中学校1年(応募時) 三浦 華歩さん

私の町では、小学生が見守り隊の方々とは下校するところを目にすることがあります。見守り隊の方々とは、小学生と楽しく話をしながら下校していました。この方々のおかげで、安全に登校することができているのだな、と思いました。

毎朝、横断歩道の前で私達を見守ってくださる方々がいます。いつも笑顔であいさつをしてくれる、優しい方です。

私は、あまり誰かにあいさつをすることがないので、最初は頭を下げるくらいでした。

でも、毎朝あいさつをしているところを見ていて、私もすっかりあいさつをするようになりました。「気をつけてね。行ってらっしゃい。」

そう一言言ってもらえるだけで、とてもうれしかったです。この優しい一言で、町が守られているのだと思います。

私の町は、今とても安全だと思います。それは、みんながいつも笑っているからです。町を歩いても、学校にいても、必ず笑っている人を見ます。当たり前のことかもしれないけれど、うれしいことだと思います。

この町が安全だから、みんなは安心して笑顔になれるのだと思います。もし安全でなかったら、安心することができなかつたら、笑っている人はいな

いと思います。

安全だけでなく、みんなが安心できる町をつくっていくことが大切なのだと思います。

安全で安心できる町をつくる。そのためには、地域に住んでいる人がみんな協力することが大事だと思います。地域のみんが力を合わせることで、どんなことがあっても楽しく生活することができると思います。

すれ違った人にあいさつをする。行事に参加する。こんな小さなことでもやっていくことが大切だと思います。そうすれば、安全で安心な町をつくっていくことができると思います。

今ある町の安全が、「当たり前」だとは、思っ

てはいけないと思います。町の安全を考え、毎朝、私たちを見守ってくれている見守り隊の方々への、感謝の気持ちを忘れずに、生活していきたいです。

たくさんの人に私の町の良いところを知ってもらい、いつまでも安全で安心な町にしていきたいです。何もしなければ良くなることはないと思います。

だから自分は、「今、何ができるのか。」「何をしなければいけないのか。」を考え、一日一日生活をしていきたいです。

## ナンバープレートやバッテリーなどの盗難被害が増加中!

自動車等に取り付けてある部品等を盗む「部品ねらい」の被害が増えています。その約4割(40.7%)が駐車場で発生し、特に中通りやいわき方で増えている状況です。

平成28年中270件  
(前年対比+73件)



### 対策

- ★盗難防止用ボルトに変える
- ★夜間も明るい場所に駐車するなど工夫して愛車を守りましょう!



「年末年始における地域安全運動・防犯キャンペーン」  
平成28年12月(白河市)  
白河地区防犯指導隊



「年末年始における地域安全運動・なりすまし詐欺被害防止広報」  
平成28年12月(福島駅東口)  
福島警察署  
カクニンジャー福くんも広報に活躍しました。

## 防犯活動フォト紹介

「ツーロックの日における自転車盗難被害防止広報」  
平成28年10月(福島駅西口)  
福島地区防犯指導隊



「全国地域安全運動出動式における防犯パトロール」  
平成28年10月(福島市)  
福島地区防犯協会など





# 《《補導員の手記》》

## コミュニケーション能力を育てる

二本松警察署では、中学生や高校生で地域安全ヤングボランティア「リリーバーズ」を結成し、非行防止や健全育成活動をしています。

毎年、冬には希望者を募り、老人ホームや保育園、二本松駅前などでハンドベルの演奏会を開催しています。

ハンドベルは一人一音か二音のベルを持ち、全員でメロディーを作ります。一人でも合わない曲になりません。といて誰かに合わせて出そうとすると、微妙にずれてきます。一人ひとりが自信を持って音を出し、心一つにして演奏することによりメロディーが完成します。

リリーバーズ隊員は、一回一時間余り、合計しても十回位の練習で本番に臨みます。初めころは、たどたどしく大丈夫だろうかと不安もよぎりましたが、誰かがつまずくと、休憩の間にリズムを教えてあげたり、隊員同士でこの曲はみんなで歌おうと話合ったりしながら、回を重ねるごとに仕上がっていき、この年代の少年の持つ能力、可能性の大きさには驚かされました。

勉強や受験で大事な時期に、学校と塾の合間に、重い鞆を背負って通ってきて、集中して練習する姿は輝いていました。

やはり、子ども達は、人と人とのふれあいの中で成長していくのだと実感しました。

一方、子どもたちの間では、スマホをはじめ、ゲーム機、音楽機器、学習タブレットなどを使ってインターネットに接続し、見ず知らずの人と会い、被害を受けたりトラブルに巻き込まれることが多くなっています。

まだ、携帯電話も普及せず、電話ボックス一面にピンクビラが貼られ、テレクラが各地にあった頃に補導した少女は、テレクラを利用して見知らぬ人と会い、性的行為をしてお金をもらっていました。その中にはお金をもらえず、殴られることもありましたが、それでもやめずに、反撃するために撮影するカメラを持参しながら続けていました。

どうしてやめないのか聞くと、少女は、「テレクラで会

う人は一度だけなので、何を言っても平気だし、気にすることなく話ができるから楽でよかった。学校の友達は、これを言ったら気にするのではないかといろいろ考えて話ができなかった。」とっていました。

やはりコミュニケーションは、お互いの感情をぶつけ合ったり、意見が合わずにけんかをしたりする中で育っていくものだと思います。その煩わしさを避けて、一方的に自分の思いをぶつけるのは、一時的にすっきりするだけで、何の喜びも成長もないと思います。

今も少女のように日常の交友関係に疲れて気楽に話したいとか、これまでの関係をゼロにして、誰も知らない自分から始めたいと、インターネットを使い、知らない人と話をする少年もいると思います。しかし、相手は、物わかりのいい同世代になりすまし、少年をだまそうとする悪い大人かもしれません。

また、逆に日常の交友関係が途絶える不安から、自宅でも返信し続けている少年もいるでしょう。

子どもたちは、インターネットという機械を操作する能力は高くてもそれを活用する社会的な能力は未熟です。一度も会ったことのないメールだけの相手を「彼氏」と言い切る少年が何人もいました。保護者の皆様が子どもたちのインターネットの利用を見守り、アドバイスしていくことが不可欠です。また、子どものはじめてのコミュニケーションの相手である保護者が子どもを受け入れ、話を聞いてあげることこそ、コミュニケーション能力を育てる第一歩だと思います。

地域においても、ボランティア活動などを通じて子ども達とふれあい、コミュニケーション能力を育てながら、インターネットを利用して被害に遭わないよう見守っていくことが大切だと思います。



二本松警察署  
専門少年警察補導員  
●●●●●●●●●●  
宍戸 光子

### 自転車防犯登録を推進しましょう

## 自転車防犯登録

自転車の防犯登録は、法律によって義務づけられています。防犯登録をすることにより、自転車盗難被害の防止効果とともに、自転車の被害回復に役立っています。

必ず防犯登録をしましょう。

- 自転車が盗まれたらお近くの警察に届けてください
- 自転車の所有者が変わったときも登録が必要です

あなたの善意を県民のために役立てませんか

## 賛助会員募集中

公益社団法人福島県防犯協会連合会では、より充実した活動を行うため、賛助会員を募集しています。

入会手続きは、福島県防犯協会ホームページをご覧になるか又は事務局までお問い合わせください。

電話 (024) 535-8499